

平成31年度

事業計画書及び収支予算書

公益社団法人

神奈川県ペストコントロール協会

平成30年度第7回理事会

(平成30年12月20日) 決定

平成31年度事業計画

概 況

平成30年の夏、神奈川県は記録的な高温に見舞われました。

6月は曇りや雨の日が少なく、6月終わりには太平洋高気圧が日本の南東海上で強まり、記録的に早い梅雨明けとなりました。7月には西日本を中心に「平成30年豪雨」が発生しましたが、本県では8月にかけて晴れて気温の高い日が多くなりました。一方、この夏発生した台風は18個と多く、8月後半に大雨になった日もありましたが、本県では、県西部の沿岸地方を除き被害は比較的軽微にとどまりました。

このような気候の影響か、協会が受ける電話相談（害虫110番）が近年になく多く寄せられ、なかでもスズメバチに関する相談件数がこれまでになく増えて、協会でもこの対応に忙殺されることとなりました。

一方、環境衛生に関する動向をみると、2020年東京オリンピック・パラリンピックが迫っており、様々な衛生リスクへの対応が求められる可能性があります。また、これまで連携の無かった建築行政からも空家対策のパートナーとして当協会に期待が寄せられる状況にもなりつつあります。

公益社団法人神奈川県ペストコントロール協会は、協会設立以来の諸先輩方の努力の積み重ねもあり、協会の知名度も不十分とは言え徐々に市民に浸透しつつあり、県民の皆様の電話相談も増加傾向にあるといえます。また行政機関からも、感染症対策や自然災害発生時のパートナーとして一定の信頼を得られるようになってきたとの実感もあります。

しかしながら、競争の激化、後継者問題などPCO業界を取り巻く情勢は決して楽観できるものとは言えず、さらなる努力が求められているといえます。

協会では平成32年に設立50周年を迎えることとなりますが、これを機に新たな飛躍を期すべく「協会の在り方」、「PCOの市民生活への一層の浸透」、「県・市町村など地方行政機関との連携の推進」、「PCO業務従事者の技術力の更なる向上」、「PCO業務の継承者の育成」、「空き家対策への参画」など様々な課題をテーマに検討を進めて参りたいと考えております。

平成31年度においては、協会設立50周年事業に位置付けた市民生活に危険を及ぼす特定外来生物の生息調査等を行うとともに50周年記念事業の企画・準備を進めるほか、以下の具体的事業を実施いたします。

事業内容

1 公衆衛生の向上を図るために

- (1) 公共機関、各種地域団体及び公益事業団体、業界団体並びに市民団体などとの連携強化
- (2) 感染症予防衛生隊の活用及び充実強化
- (3) 安全な生活環境を確保するための各種調査研究活動の充実・強化
- (4) 市民も参加できる各種講習会の開催
- (5) 地域社会における公衆衛生の推進強化

2 地域社会への浸透を図り、公益事業の強化を図るために

- (1) 害虫110番事業の機能強化
- (2) ホームページの効率的運用
- (3) 有害、不快生物等の同定・相談事業の実施
- (4) 有害・不快生物に関する防除の正しい知識の普及・啓発
- (5) 市民の知識を啓発するための「虫の日」イベント等の開催・参加
- (6) 公共機関、市民団体、業界団体等への講師の派遣

3 防除技術の向上を図るために

- (1) 技能師資格の普及・拡充
- (2) 技術関連講習会の充実強化による新たな課題への対応
- (3) 各種技術情報の収集・提供
- (4) IPM（総合的有害生物管理）に即した防除手法の普及・開発
- (5) 機関誌「情報発信 from かながわ」の発行
- (6) 各種学会への協賛・参加
- (7) 資料室・研修室の充実と活用の促進

4 協会の基盤強化のために

- (1) 組織の充実強化
- (2) 協会広報活動の強化
- (3) 会員を対象とした経営相談等の窓口開設の検討
- (4) 経営環境改善講習会の実施
- (5) 次世代型指導者の育成と支援
- (6) 会員相互の親睦、連携を図るための福利厚生事業の実施
- (7) 新規会員の加入促進